

分科会 9

医療の場にリカバリー志向の風が吹く

～ピアサポーター活動（地域移行・地域定着支援）からの報告～

- 出演者 塩田由美子（はらからの家福祉会 ライフパートナー）
和田公一（横浜市旭区地域生活支援拠点ほっとぽっと ピアスタッフ）
尾山篤史（神奈川県地域移行・地域定着支援事業 ピアサポーター）
進行 相澤和美（地域精神看護ケアねっと／国際医療福祉大学）
佐々木理恵（一般社団法人 WING-NETWORK 多機能型事業所すぺいろ）
大橋秀行（NPO 法人 POTA／埼玉県立大学）
川口敬之（NPO 法人 POTA／北里大学）

全体の流れ

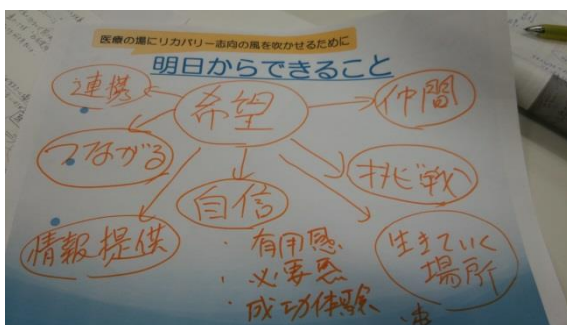
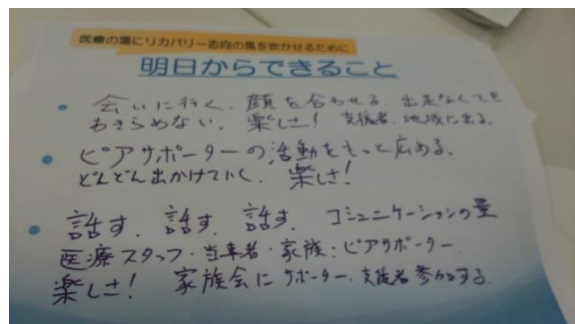
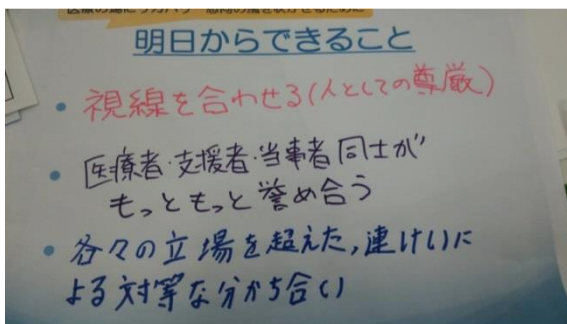
本分科会は“医療の場でリカバリー志向の理念やサービスを育てるために、当事者・家族・専門職などのそれぞれの立場でできることはないか”、といった観点で開かれ、108名の方々に参加していただき、グループディスカッションを行いました。

はじめに、医療の場でピアサポート活動を実践している出演者3名より、ピアサポート活動の概要、専門職との協働・連携、リカバリー志向の支援のあり方や方法などについて発表してもらいました。

次に、出演者の発表を受けて、各グループに参加した当事者の方を中心に、テーマである「医療の場にリカバリー志向の風を吹かせるために、明日からできること」について語り合いました。その後、ディスカッションで挙げた具体的なアイデアについて、「明日からできること」シートに自由に書き出しました。参加者にはそれぞれの現場で伝達してもらい“リカバリー志向の風”を吹かせるために、携帯電話のカメラなどでシートを撮影するなどして（または、シートの縮小版に書き写すなどして）持ち帰っていただくこととしました。

各グループに発表していただいたり、他のグループのシートで「これ、いいね!」と思ったものを撮影したりして、みんなでシェアしました。分科会を通して、参加者一人一人が希望や充実感にあふれて、“リカバリー志向の風”となり、医療の場が少しずつリカバリー志向に変わっていけばと思います。

アイデアの一部紹介



・看護師も一人の人間
・地域はお互いつり合う
・一緒に作る. やりこめが
・半分づつ 半分の力は自分ごと
・フォーラムに未来はピカが風!
・患者さんがどんなことを考えているのか
・欠点じゃなく. 何とせたいか
→一緒に作る!